

県立工業技術センター研究課題評価シート【平成 29 年度】

[事前評価]

No.	研究課題名	研究の概要	評価結果及び委員からのコメント	提案機関へのアドバイス
	主担当部署			
	研究期間			
1	<p>アレンジワインダーを用いた撚糸の意匠性向上に関する研究</p> <p>繊維工業技術支援センター</p> <p>平成 30 年度 (1 年間)</p>	<p>織物の意匠性の向上は、播州織をはじめとする織物産地において競争力を向上させる有効な手段である。</p> <p>当支援センターの技術シーズであるアレンジワインダーを撚糸工程に用いると、これまでに無い新たな意匠の撚糸作成が可能になり、織物の意匠性向上に大きな効果がある</p> <p>アレンジワインダーで繋いだ糸を 2～複数本合わせて撚糸することで、従来は色の組み合わせのみであった意匠撚糸の一種である杓糸（複数の色糸を撚り合わせたもの）の表現が、任意の色を任意の周期でそれぞれ独立して変化させることが可能となり、表現の幅を大きく広げることで意匠性の向上を目指す。</p> <p>意匠撚糸の撚り数は通常一定であるが、これを連続的に変化させることで更なる意匠性の向上を目指す。</p> <p>作製した意匠撚糸を緯糸に用いて製織し、織物に組み込んだときの意匠性の向上効果について、日本繊維機械学会秋季セミナーにおける研究成果展示やジャパンテキスタイルコンテスト等の展示会に出展し、求評を行う。</p>	<p>【採択】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下地場産業（織物等）に有効な研究。 ・技術としては素晴らしいと思う。 ・すでに完成されたアレンジワインダーを利用するテーマであるが、これを用いてどのような研究をするのか明確ではない。 ・独自の技術を活かした研究テーマと考えられる。 ・独自のシーズとニーズがマッチした面白い研究である。 ・必要性が少し曖昧である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を早く出すように。 ・技術的な問題はよくわかるが、最終的なマーケットにおける重要性、必要性をはっきりしていただきたい。 ・デザイナー支援技術の開発も必要である。 ・優れた技術であるので、その応用を考えることが必要である。 ・並行してデザイナーを支援するソフトウェアを開発する必要がある。